

10時20分、さくら野前には共産党の宣伝カーと国賠の会員が待ち構えていて、車からチラシなどを降ろし、「ふたたび戦争と暗黒政治を許すな!」のゼッケンを胸に横に並ぶ。国賠の支部長は車の前に並び、終戦記念日の街宣行動が始まりました。さくら野の前の道路を挟んで、中学生の子ども達、高

8・15 弘前支部の行動

8・15 終戦記念日行動 『不戦の誓い新たに』

が多く、ドウシテナゼーと……。

でも市会議員、県会議員、地区委員長、国賠支部長等の

校生、若い親子連れ。年配者も。始めのうちはチラシの受け取りを遠慮する人たち

マイクの声に誘惑されてか? チラシを受け取る人が多くなりました。

小さなパタパタつる付けたチラシを受け取り対話に。

「チラシを読んでね」「チラシの裏の詩も見てね」と声をかけ、一二〇余枚を手渡しました。

その後ヨーカドー前に移動して街宣。コロナ禍の中、多くの皆様の援助によりチラシ一四〇~一五〇枚を手渡しすることが出来ました。一〇〇枚を超すチラシが渡せた事。

本当にうれしかったです。

山毛榉

△わが家に猫のミル、ペロの姉妹がいた。ひよんな事からミューが来て三姉妹となつた△ところが昨年十一月、ペロが亡くなり、一月にミュー、庭を通りに亡くなつた。しばらく氣落ちする日々が続いた。ミル、ペロは21年ミューは11年、家族同様に暮らして、庭を通る猫を見ては、わが家の三姉妹と重ね合わせ、「ヤン」「ニヤン」と声をかける日々に。三姉妹のミュー(子猫)も遺棄報道が。そのたびに憤りに胸が痛くなる。なぜこんな事が起きるのか。背景にコロナ禍のなか、格差と貧困事が起きるのか。背景にコロナ禍のなか、格差と貧困の広がりがあるのでは。憲法が生きされ、だれもが安心して暮らせる社会を願わざにいられない。(とく)



No. 567

編集発行人 田中幹夫
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒113-0034
東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター全労連会館内
電話 03-5842-6461
FAX 03-5842-6462
振替 00110-6-97793
定価 50円

青森県版

2021年9月15日発行

第 351 号

〒030-0821
青森市勝田二丁目7-3
山脇ビル
TEL 017-721-9018
FAX 017-721-9019
青森県本部



絵手紙 吉田祥子(東青支部)

下北支部総会・学習会が八月十一日、下北教育会館で十三名参加で開催されました。昨年に続き樺太の「大平炭鉱病院看護師の悲劇」をテーマに畠中浩美さんからお話ししていただきました。

TBSテレビ「七〇年目の新事実」樺太

「これぞ戦争の実相」と題して、貴重な二筆集める事ができました。

八月十日に発行しました。樺太の恵須町に大平炭鉱病院があつた。樺太では、八月十五日以降もソ連軍との戦闘がつづいていた。大平は、八月十六日ソ連軍の空襲をうけ、入院患者や負傷者の治療に追われ、看護師の避難が遅れたものの、逃げ場がないことを知り、二十三人は、「これ」の木立つ小高い丘で外科手術用メスで手首を切り集団自決した。婦長、主任他六人が死亡した。

二〇一五年八月十日

下北支部 第十一回総会・学習会を開催

二十三人の看護師の集団自決を追う放映にあたり、畠中さんは取材を受けたり、資料提供をしたそうです。

今回の学習会であらためて平和の大切さを学ぶ機会になりました。

総会は、議長に吉田麟氏を選出し議事が進められました。始めに二〇年度経過監査報告、決算報告、二二年度活動方針案、予算案が提案されました。討論では、総会と学習をやることは意義がある、他にも支部として学習をやってはどうかの提案がありました。若い世代に引継ぐためにどのように活動をしたらいいのかなどの発言がありました。報告、提案は採決され、役員選出して閉会しました。

8.15 終戦記念行動

支部	ヶ所	参加者	ビラ配布	署名	新聞折込	備考
東青	1	13	100	10	870	
弘前	2	41	150	14	1380 (共産党との合同街宣参加者は2ヶ所のべ41名)	
西北					840 (赤旗・朝日)	
下北	2	20	106	0	700 (下北9条の会と合同街宣)	
上十三	2	4	2	0		
三八						
計	7	78	358	24	3790	

8.15 東青支部の行動

七十六回目の夏 池辺 せつ子

あれから七十六回目の終戦記念日です。八月十五日、新町さくら野前で、恒例の宣伝行動が行われました。日差しはあるもののときおり強い風の吹くなか、同盟員十三人。嬉しいことに、八月に入会したばかりの船越ツトム氏も初参加されました。

「不戦の誓い」を訴えるチラシを配りながら、理事の方々が交代で、国賠同盟の活動と署名のお願いを呼びかけました。

コロナ禍とはいえ、日曜とは思えないほど人通りの少ない街で、それでも道行く人達にいねいに話しかけ、貴重な一筆一筆を戴いていきます。この日は、十二筆集める事ができました。

日本全国で、「あやまちは、くり返しませんから」と誓つたはずなのに、いつからか時代の風景が戦前に似てきました。その色あいが、近年濃くなつたように感じます。戦争の酷さを、実体験を持つて語れる人達が少なくなった今こそ、国賠同盟の運動は絶やす事はできないと、強く思いました。



8.15 上十三支部の行動

今年四回目の街宣

日本全国で、「あやまちは、くり返しませんから」と誓つたはずなのに、いつからか時代の風景が戦前に似てきました。その色あいが、近年濃くなつたように感じます。戦争の酷さを、実体験を持つて語れる人達が少なくなった今こそ、国賠同盟の運動は絶やす事はできないと、強く思いました。

今年の終戦日の街宣は、三・一五、四・一六などで上十三支部担当の地域を一ヶ所で行いました。場所は今まで国賠の街宣をしたところのないところにしました。

コロナの影響で人出はほとんどなく、車が通り過ぎる窓から眺める人がチラホラ。参加者は四人で、三人が交代でこの大戦の被害の大引きや治安維持法が戦争を始めたためのものであったこと、治安維持法がとりわけ日本の植民地である朝鮮や台湾の人々に厳しく適用されたことなどを訴え、国賠同盟の活動内容を伝えました。

だけですが、黄色の旗を車両から眺める人がチラホラ。参加者は四人で、三人が交代でこの大戦の被害の大引きや治安維持法が戦争を始めたためのものであつたこと、治安維持法がとりわけ日本の植民地である朝鮮や台湾の人々に厳しく適用されたことなどを訴え、国賠同盟の活動内容を伝えました。

道路を隔てて我々の訴えなりました。

を聞くというよりも、人待ちしていた若い男性を捕まえた。署名は顔を見てしっかりと訴えてしていただきました。

今年は二月二十日(多喜二虐殺の日)、三月十五日、四月十六日、八月十五日と街宣をしてきました。十二月八日(開戦日)も行う予定です。





私が出会った子どもたち……

(34)

『東京で、バスガイドを泣かせた3年1組』

一 戸 義 規

三五歳ころ、中学校一年から三年まで持ち上がったクラスの話です。

一年生から二年生になる時にクラス替えがあり、「無口で陰のある女子」と、「ちよつと反抗的な？男子」の組み合わせのクラスを私が担任することになりました。

修学旅行一泊目、日光の宿では「クラス対抗・カラオケ大会」を行いました。審査員は少し酒の入った教頭以下四人の引率教員でした。

二、三、四日は、ディズニーランドを含む「都内見学」でした。バスに乗りました。徒会長（哲）が突然マイクを握り、「三日間よろしくお願ひします。私たちのクラスを紹介しますが、まず最初に全員で校歌を歌います。」と言つて指揮をはじめ、全員で歌いました。「クラスの特徴紹介」「初めての東京見学」「ガイドの自己紹介への数々の質問」「観光地紹介へ

班編成や部屋割りでみんなが納得するまで二時間話し合いました。

驚きの反応と質問」……やがて、ガイドがバスの中央を歩いてきて、生徒に個別質問、男女でいつしょに座っているクラス公認のペアもあり、ガイドに羨ましがれたり……バス内の雰囲気は絶好調……

間もなくガイドが、担任である私に「初めてこんな生徒たちに会いました。普段どう指導しているんですか？」と尋ねるも、私はバス見学の指導はしていないので答えるものもありませんでした。最終日、バス観光が終わる時、ガイドが「バスガイドになつて、みなさんのように生徒に初めて会いました。この仕事をしてよかつたと思ひます。」と言つて泣き出しました。男子は「ヤツタ！」と声をあげました。女子はもらい泣きするものもいました。その後、ガイドは、運転手に断り予定を変更してバスを降りて、新幹線のホームまで旗を持って見送りました。

私はあらためて「子どもの可能性」と「集団の力」を知りました。



「卒業記念アルバム」より